

警 察 署 協 議 会 会 議 録

博多警察署協議会

開催年月日時	令和7年4月25日（金）午後4時30分 から 令和7年4月25日（金）午後5時40分 まで	
開催場所	博多警察署8階大会議室	
出席者	警察署協議会	会長以下13名
	警察署	署長、副署長、会計管理官、生活安全管理官、地域管理官、刑事管理官、交通管理官、警備管理官、総務第一課長、総務第二課長、事務局
議 事 概 要		
<p>【会長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新たに会長という立場を仰せつかったが、不慣れな役職であるので、ご協力をお願いする。 ○ 私は現在、日本国籍であるが、元々は外国人留学生であったので、その経験を協議会活動に生かしていきたいと考えている。 ○ 皆様とは今後、様々な話をしていきたいと思っているのでよろしく願います。 <p>【署長挨拶（要旨）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本日はご多忙の中、博多警察署協議会にご参集いただき感謝申し上げます。 ○ 今回の会議は、春の人事異動で署長に着任し、そして新委員をお迎えして初めての協議会である。 本年度も、概ね四半期に一度、4回の定例会議を予定しているのでよろしく願います。 ○ 警察署協議会は、警察署長が警察署の業務運営に民意を反映させるため、その在り方について地域の代表である協議会委員の皆様から意見を聴くための機関であり、また警察署の業務運営について委員に説明し、その理解と協力を求める場でもある。 どうかこの協議会で、住民の代表でもある皆様の、忌憚りの無いご意見、ご質問、ご要望を頂戴できればと思っています。 ○ 博多警察署の体制も、今回春の定期異動で署長以下2割弱の署員が入れ替わり新たな体制となったが、皆様の理解と協力を頂きながら、「博多の街の安全安心の確保」に向けて、署長以下全署員一丸となって、全力で取り組んで参る所存である。 今後も引き続き、ご指導ご鞭撻をお願いする。 <p>【新委員自己紹介】</p>		

議 事 概 要

今年度から新たに博多警察署協議会委員に委嘱された委員より自己紹介が行われた。

【新警察署幹部自己紹介】

春季人事異動で博多警察署に着任した警察署幹部から自己紹介が行われた。

【報告事項等】

- 1 令和6年度第23回警察署協議会会長連絡会議結果報告（事務局）
 - (1) 警察署協議会活動報告
 - ア 宗像警察署協議会
 - イ 戸畑警察署協議会
 - ウ 豊前警察署協議会
 - (2) 公安委員会講評

【質疑応答等（要旨）】

- 委員から「これから博多の街はどんたくや山笠など、様々な行事が予定されているので、警察署のご協力をお願いする。警察署幹部の異動は早いものであるが、新たな体制となった協議会委員と署長をはじめ幹部の方々と共に、一生懸命頑張っていきたいと思っているので、よろしくお願いします。」旨の発言があった。
署長からは「博多の街は古き良き伝統の街であり、住民の方々と一緒に守っていかなければならない。今年も事故のないよう各行事の警備に万全を期していく。幹部の異動については定年退職の関係もあり、そのような形となっていることをご理解頂きたい。」旨の回答があった。
- 委員から「警察署協議会の会長は委員の互選で決めることとなっており、今回も委員の総意で新たな会長を選出したが、外国籍であった方が会長となっている例は他にあるのか。」旨の質疑があった。
さらに同委員から「博多区はインバウンドが増加しており、博多区の街づくりを推進していく上では、外国の方々と一緒に街づくりに取り組んでいくことが課題となっている。博多区役所にも新しい部署ができており、今回の協議会の会長人事はこうした博多の世相を反映したものであると思っている。ぜひ会長のカラーを出してもらって、今年度も皆で一緒に取り組んで参りたい。」旨の発言があった。
署長からは「正確な数は手元にないが、全国的にも警察署協議会の会長や委員に外国籍の方がいると承知している。」旨の回答があった。
また、会長からは「外国から来た留学生等が悪いことをして迷惑をかけたという話を見聞きすることがあるが、これには日本人のサポートも必要であり、外国から留学生等を受け入れている学校や企業が協力して日本のルールを説明してやることも重要である。」旨の発言があった。
さらに、他の委員からは「博多区の外国人情勢が変化している中、博多区役所では今春から、多文化共生推進担当の係長級ポストが新設されている。このポストは、地域社会全体で外国人住民を受け入れ、トラブルがあれば原因を追究する

議 事 概 要

などして協力して生きていくための環境づくりに関する取組を進めている。言語の壁や文化的な違いによる課題を乗り越え、多文化共生を促進していくことが重要である。」旨の発言があった。

- 委員から「不審者情報を見聞きすると、孫世代の地域の子供達に対して、気を付けるよう声を掛けてやりたいと思うが、逆に不審者と思われないか心配である。何か良い方法はないだろうか。」旨の発言があった。

他の委員からは「学校と連携し、登下校の見守りをしてくれる方を児童に紹介してもらうなどの方法がある。」旨の発言があった。

さらに、会長からは「地域の子供に声を掛ける場合は、自分の子供の名前を出して、誰の親なのか分かるようにした上で話し掛けている。」旨の発言があった。

また、別の委員からは「自分の子供をはじめ、最近の子供達を見ていると、親はもちろん、学校の先生にもあまり叱られたことがないため、大人を怖いものと感じていないように感じている。そこで、本当に危害を加えてくるような不審者と出会ってしまった場合に、そういった危機感がないので、平気で自分から近付いたり、身を守る行動が取れなかったりする気がする。子供達にどう教えていくのが良いか難しい問題だと考えている。」旨の発言があった。